

わたしを**活**かす**場**を**作**る。
託児付コワーキングスペースを
生み出す学びの**6ヶ月**

人を巻き込む。仕掛けと実践。

前提

託児付 coworkingスペースの必要性の実感

問題意識

動き

事業計画書・資金計画書の作成

前松田センター長
への相談

託児付 coworking
スペースを
作りたい

マッチング

元気塾

平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

応募

事業計画書・収支予算書作成
提出・採択



講座
組み立て

講師選定・依頼・登壇交渉
打ち合わせ
会場確保・時間・
講座全体の組み立て

ままいるHPのリニューアル
アメブロ⇒ワードプレス

受講生
募集開始

チラシ作成

実行委員会ライングループ作成
情報共有・意見交換

広報活動
チラシ配布・広報誌掲載
SNS利用・口コミ紹介・
他イベントでの告知

HPにてコンテンツを作成
事業の進捗状況を随時ブログにてUP

平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

わたしを活かす場を作る。 託児付コワーキングスペースを 生み出す学びの6ヶ月

コワーキングスペースとは、各自が自分の仕事や自己啓発、リフレッシュに集中できるオープンなワークスペース。同時に、情報・知見の共有ができ、自由なコミュニケーションが図れ、互いに貢献し合えるワーキングコミュニティでもあります。わたしはコワーキングスペースに託児を付けることの必要性を感じ、実現をめざします。「想い」を「カタチ」にする面白さを一緒に体験しませんか？6ヶ月の講座を終えた後、きっと自分の可能性の大きさに気づくはずです！講座内容に興味がある人ならどなたでも応募OKです！お気軽にご応募ください！

会場 大野城まどかびあ **定員** 20名
参加費 1000円（全講座分）※公開講座は無料で参加できます
申込締切 9月10日（日）

9/25 働き方改革・ママプラス！活躍するためのクラウドソーシング活用
《第1部》最近よく耳にする「働き方改革」。多様な働き方が認められることが、ママたちを幸せにするのだろうか。「多様でフレキシブルな働き方」や「フリーランスの働き方」について講義します。
株式会社 Waris 代表取締役共同創業者 河 京子さん

10/23 一時保育へのこだわりがママを救う～マミースマイルの事例～
「ちょっとだけママを休もう」をコンセプトに、託児付きコワーキングスペースとしても機能するマミースマイル保育園。一時保育にこだわった保育事業を実現した経緯をお話します。
株式会社マミースマイル 代表取締役 雁瀬 映子さん

11/17 チームビルディング
チームを組み、それぞれの強みと役割をお互いに理解し共有することで、チームのパフォーマンスを向上させることができます。チームビルディングの重要性を学び、ワークシットを通して「チームメンバー同士の成長支援」を疑似体験します。
福岡県男女共同参画センター「あすばる」センター長 松田 美幸さん

12/15 ママが働く壁をぶち壊す！～奇跡のサテライトオフィス千葉県流山市 Trist の事例～
女性が働きやすくなる環境づくりを念頭に、都内に通勤せずとも地元で働けるサテライトオフィスを運営。世界のマイクロソフトの協力を得た、革新的な取り組みとは？独自の教育プログラムは多くの企業やメディアから注目を集めています。「働き方改革」は「小さな街の小さな場所から一人ずつ」という理念に基づき、自立的に成長するコミュニティの重要性をお話します。
株式会社新内力代表取締役・Trist 代表 尾崎 えり子さん

1/19 想いをカタチに。わたしたちが創るビジネスプラン1・2
調査データや施策など、大野城市の現状と特徴を学びます。そこから課題をとらえ、課題解決に必要なプランを作成します。その考え方やプランの立て方など地域にも活かせる実践的なワークショップです。最終日には作成したビジネスプランを公表し、プラン実践の道を探ります。
NPO法人メディア・大野城市共創コディネータ 森 裕美さん

2/9 想いをカタチに。ビジネスプラン作成2
NPO法人メディア・大野城市共創コディネータ 森 裕美さん

申込方法 右QRコードから入力フォームに必要事項（氏名・年齢・メールアドレス・電話番号・応募動機・受講講座・託児希望の場合は子どもの月【年】齢）を入力して送信してください。または下記の電話がメールまで、必要事項をお知らせ下さい。
mail: mamale.smile@gmail.com tel: 080(1728)2560（担当：三好）

主催：コワーキングラボおおのじょう実行委員会（ままいる・大野城まどかびあ男女平等推進センター アスカール・大野城市）
共催：福岡県男女共同参画センター「あすばる」

講座内容・講師紹介

9/25 働き方改革・ママプラス！活躍するためのクラウドソーシング活用
《第1部》最近よく耳にする「働き方改革」。多様な働き方が認められることが、ママたちを幸せにするのだろうか。「多様でフレキシブルな働き方」や「フリーランスの働き方」について講義します。
株式会社 Waris 代表取締役共同創業者 河 京子さん

10/23 一時保育へのこだわりがママを救う～マミースマイルの事例～
「ちょっとだけママを休もう」をコンセプトに、託児付きコワーキングスペースとしても機能するマミースマイル保育園。一時保育にこだわった保育事業を実現した経緯をお話します。
株式会社マミースマイル 代表取締役 雁瀬 映子さん

11/17 チームビルディング
チームを組み、それぞれの強みと役割をお互いに理解し共有することで、チームのパフォーマンスを向上させることができます。チームビルディングの重要性を学び、ワークシットを通して「チームメンバー同士の成長支援」を疑似体験します。
福岡県男女共同参画センター「あすばる」センター長 松田 美幸さん

12/15 ママが働く壁をぶち壊す！～奇跡のサテライトオフィス千葉県流山市 Trist の事例～
女性が働きやすくなる環境づくりを念頭に、都内に通勤せずとも地元で働けるサテライトオフィスを運営。世界のマイクロソフトの協力を得た、革新的な取り組みとは？独自の教育プログラムは多くの企業やメディアから注目を集めています。「働き方改革」は「小さな街の小さな場所から一人ずつ」という理念に基づき、自立的に成長するコミュニティの重要性をお話します。
株式会社新内力代表取締役・Trist 代表 尾崎 えり子さん

1/19 想いをカタチに。わたしたちが創るビジネスプラン1・2
調査データや施策など、大野城市の現状と特徴を学びます。そこから課題をとらえ、課題解決に必要なプランを作成します。その考え方やプランの立て方など地域にも活かせる実践的なワークショップです。最終日には作成したビジネスプランを公表し、プラン実践の道を探ります。
NPO法人メディア・大野城市共創コディネータ 森 裕美さん

2/9 想いをカタチに。ビジネスプラン作成2
NPO法人メディア・大野城市共創コディネータ 森 裕美さん

<会場案内図>

大野城まどかびあ
大野城市役所
まどかびあ
まどかびあバス停
まどかびあ
大野城まどかびあ
大野城市役所
まどかびあ
まどかびあバス停
まどかびあ
大野城まどかびあ

<主催> コワーキングラボおおのじょう実行委員会（ままいる・大野城まどかびあ男女平等推進センター アスカール・大野城市）
<共催> 福岡県男女共同参画センター「あすばる」

平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

わたしを活かす場を作る。託児付コワーキングスペースを生み出す学びの6ヶ月

コワーキングスペースとは、各自が自分の仕事や自己啓発、リフレッシュに集中できるオープンなワークスペース。コワーキングラボおおのじょう実行委員会はコワーキングスペースに託児を付けることの必要性を感じ、実現をめざします。

10/23 一時保育へのこだわりがママを救う～マミースマイルの事例～
「ちょっとだけママを休もう」をコンセプトに、託児付コワーキングスペースとしても機能するマミースマイル保育園。一時保育にこだわった保育事業を実現した経緯をお話します。
講師：株式会社マミースマイル代表取締役 雁瀬 映子さん
夫、高3長女、高2長男の4人家族。専業主婦として幼い年子の姉弟を育てる中で、母親が孤獨な子育てを強いられる社会環境が抱える課題に気づき、2007年「専業主婦のための保育園・マミースマイル」を開業。年間延べ2,000人の育児中の母親と接し、育児や夫婦関係、再就職や仕事との両立の悩みなどの相談に応じの中で、ダイバーシティ&インクルージョンの必要性を感じる。

12/15 ママが働く壁をぶち壊す！～奇跡のサテライトオフィス千葉県流山市 Trist の事例～
女性が働きやすくなる環境づくりを念頭に、都内に通勤せずとも地元で働けるサテライトオフィスを運営。世界のマイクロソフトの協力を得た、革新的な取り組みとは？「働き方改革」は「小さな街の小さな場所から一人ずつ」という理念に基づき、自立的に成長するコミュニティの重要性をお話します。
講師：株式会社新内力代表取締役・Trist 代表 尾崎 えり子さん
2児の母。経営コンサルティング会社に入社。第一子育児後、子会社の代表取締役へ就任。第二子育児を経て退職。2014年7月に（株）新内力を立ち上げる。働きやすいママの選択を促すため、千葉県流山市を中心に民間学童のプロデュース、行政主催の女性向け創業スクール開催。2016年5月、シェアサテライトオフィスTristをオープン。独自の教育プログラムで企業の誘致に成功、多くのメディアから注目を集める。

場 所 大野城まどかびあ（福岡県大野城市曙町2丁目3-1）
時 間 10時～12時（開場9時40分）

申込方法 右QRコードから入力フォームに必要事項（氏名・メールアドレス・電話番号・受講講座）を入力して送信してください。または下記の電話がメールまで、必要事項をお知らせ下さい。
mail: mamale.smile@gmail.com tel: 080(1728)2560（担当：三好）

主催：コワーキングラボおおのじょう実行委員会（ままいる・大野城まどかびあ男女平等推進センター アスカール・大野城市）
共催：福岡県男女共同参画センター「あすばる」

コワーキングラボおおのじょう実行委員会

平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

受講生
決定



講座前準備



開講

託児が定員に達したため、
実行委員・ままいるメンバーの託児
は外部利用、
公開講座は子連れOKに。

大野城市区長会参加

第4回講座講師尾崎氏訪問
Trist視察（千葉県流山市）
レポートHP掲載

各講師との打合せなど
出席者・来賓の確認

受講生への受講決定メール。
（応募の動機に合わせて個別に）

【開講式】
大野城市長・まどかぴあ館長・
前「あすばる」センター長・
大野城市男女平等推進センター
「アスカール」センター長のご出席

【全講座】
講座前・後に受講生へのメール

【第3回以外の講座】
限定公開動画をYouTubeにUP
受講生で共有

1 回



働き方改革・ママフリーランス！ 活躍するためのクラウドソーシング活用法

コワーキングスペースが必要とされる社会的背景、利用者の属性、利用者が増えることが見込まれるIT技術の現状など、知識を習得。

受講生ライングループ「学び☆コワーキングラボ」作成
受講生サポートグループ「サポーター☆コワーキング」作成
(講座当日お手伝い)

コワーキングスペース視察：マミースマイル

2 回



一時保育へのこだわりがママを救う ～マミースマイルの事例～

立ち上げ秘話、現状、これからの展望など、モデルケースとして学び、ノウハウを得る

3回



チームビルディング

チームで目的を達成するために必要な役割分担を把握すること、
「全体の利益」の認識の重要性を学ぶ

ニーズ調査アンケート計画書作成（市・実行委員）

ニーズ調査アンケート配布（市・実行委員）

テレワークイベント出席（委員長）

ニーズ調査アンケート回収・入力（市・実行委員・受講生サポートグループ）

4回



ママが働く壁をぶち壊す！ ～奇跡のサテライトオフィス千葉県流山市 Tristの事例～

立ち上げ秘話、現状、これからの展望など、モデルケースとして学び、ノウハウを得る

コワーキングラボおおのじょう実行委員会

平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

ニーズ調査 アンケート結果

mamaile
ホーム Home ままいるについて About us イベント Event

2018年1月21日 / 最終更新日: 2018年1月21日 mamaile

☆調査結果報告☆【託児付コワーキングスペースの利用に関するアンケート】

ままいるは、女性活躍の推進に向けた取り組みの一環として「託児付コワーキングスペース」づくりのための講座を実施しています。

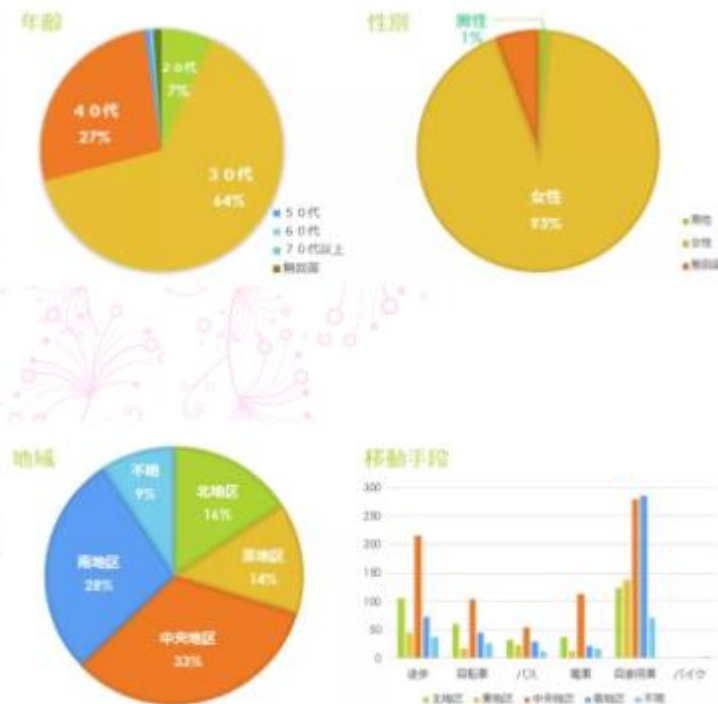
その講座の一環として、コワーキングスペースのニーズを把握するためのアンケート調査を行いました。

調査概要

調査目的

本講座5回目と6回目のワークショップにおいて、託児付コワーキングスペースづくりに向けたビジネスプランを受講生が作成し報告を行うこととなっている。そのビジネスプランの基礎資料を得るため、託児付コワーキングスペースのニーズについて、定量的かつ定性的に把握し明らかにするもの

回答者の属性



※地域・移動手段は、大野城市の回答（1146）のみの統計です。

コワーキングスペースの利用可能な立地条件

左のグラフは選択回答、右のグラフは自由回答の統計です。コミュニティセンターとは、大野城市内、北・南・中央・東地区それぞれに1カ所ずつあり、公民館よりも規模が大きく充実した設備を備え、誰もが利用できる施設です。簡単な公的書類を取得できるなど、市役所のサテライト的な機能も整えています。今回の結果より、コミュニティセンターへの高い期待値がうかがえました。

また、大型商業施設への期待も高く、大野城市近辺にある大型商業施設としては、大野城イオン、乙金イオン、下大利イオン、ザ・モール春日などが挙げられます。コワーキングスペースの利用の傍りに買い物などの所用を済ませることができる利点がうかがえます。

大型商業施設やコミュニティセンター、まどかびあ、市役所などが選ばれた理由には、駐車場が確保されていることも一因にあるようです。子ども連れで移動する手段には自家用車が選ばれる傾向があり、移動先での駐車場の心配はつねに付きまといまふ。アンケート回答者属性から、自動車を移動手段とする人が最も多かったことも一因に挙げられます。

「駅の近く」を希望する回答が3割弱を占めたのは、急行/快速が停車する「西鉄下大利駅/JR大野城駅」を利用する人の多さが表れたと言えます。

Q5 どのような場所にコワーキングスペースがあったら利用したいと思いますか。（複数回答可）



平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

5回



広報：コミュニティラジオ出演（委員長）
ニーズ調査アンケート結果発表（委員長）

想いを「カタチ」に。ビジネスプラン作成 1

試験運用コワーキングスペース（子連れOK）「ままいる一む」OPEN
各グループにて宿題取組「プラン作成」

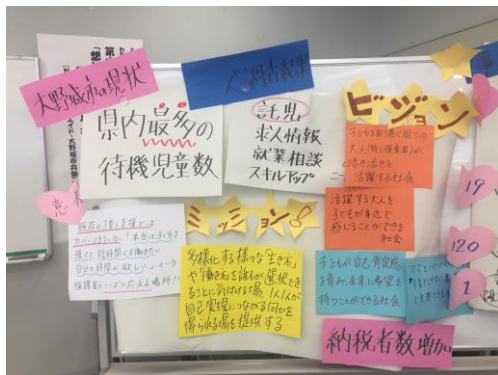
6回



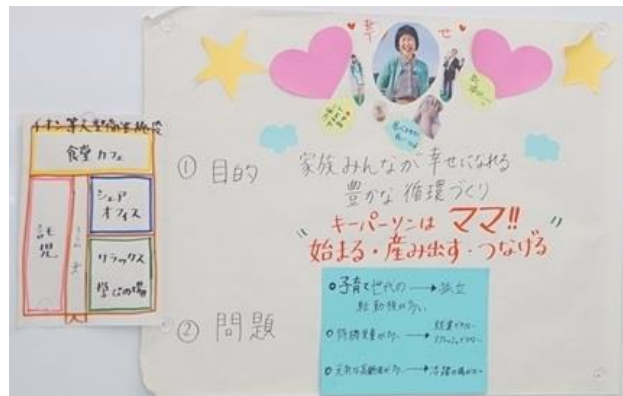
想いを「カタチ」に。ビジネスプラン作成 2

実際にチームとして動くことで、改めて一人ひとりの資質について考える機会を得、「プレゼン」の目的と手段などを確認することで、今後の事業推進に欠かせない重要な外部への働きかけの部分を体感。

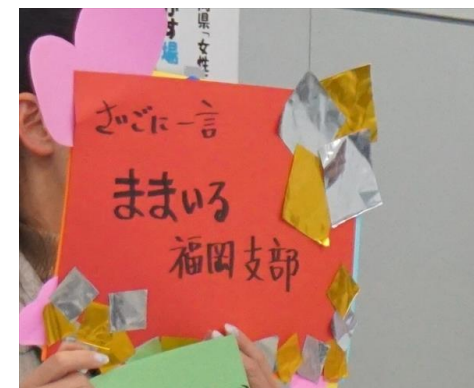
平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」



4年計画で、ゆっくりじっくり、
練り上げていくプラン



ママたちのリアルな声に
忠実に、「食」を外さない
快適空間を盛り込んだプラン



アミカスを利用した託児付コ
ワーキングスペースの実現に
向けて、ままいる福岡支部を！

平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

閉講式



大野城市長



まどかぴあ館長



コワーキングラボおおのじょう実行委員会

平成29年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」



The screenshot shows the 'mamaile' website. At the top, there is a navigation bar with links for 'HOME', 'mamaileについて (About us)', and 'イベント (Event)'. The main header is a red bar with the text 'ままいるーむ'. Below this, a breadcrumb trail reads 'HOME > イベント > ままいるーむ'. The main content area has a decorative background of pink floral patterns. A red bar highlights the title 'コワーキングスペース「ままいるーむ」'. Below the title, a paragraph explains that the co-working space is open to everyone for refreshing, self-development, and spending time. A table lists the event details: dates (1/30, 2/21, 3/9, 3/20), time (10:00-15:00), venue (Ono City Comprehensive Welfare Center), and fees (200 yen for 2 hours, 100 yen per hour for Wi-Fi and PC rental). The footer of the page reads 'コワーキングラボおおのじょう実行委員会'.

ままいるーむ

HOME > イベント > ままいるーむ

コワーキングスペース「ままいるーむ」

コワーキングスペースとは、誰でも利用できるワークスペースです。リフレッシュに、自己啓発に、自分だけの時間を過ごしに。お気軽にご利用ください。

OPEN日	1月30日(火)・2月21日(水)・3月9日(金)・3月20日(火)
OPEN時間	10:00~15:00
会場	大野城市総合福祉センター (まどかぴあ横の茶色い建物) 曙町二丁目3-2
利用料	200円(2時間まで。それ以降は1時間につき100円) Wi-fi利用の方+100円(1時間につき)※要予約 PCレンタルご利用の方+200円(1時間につき)※要予約

コワーキングラボおおのじょう実行委員会

「想い」を
カタチに。

成果

- ・ 人脈
- ・ 「ままいる一む」オープン（託児無）
- ・ 受講生同士の相互理解
- ・ 今後の活動への参加メンバー獲得
- ・ 関係各位との信頼関係構築

展開

1. 「ままいる一む」継続定期開催➡ニーズのリサーチ
2. 既存託児システムの利用・連携検討
3. アスカーラでの事業展開検討
4. 助成金事業・補助金事業・ファンド事業などへの応募検討
5. にぎわいづくり協議会との連携
6. 「ままいるHP」の地域密着型育児情報ポータルサイトの構築
8. ままいる主催イベントの継続開催による認知度UP
9. ままいるメンバー一人ひとりの能力開発

引き続き、今後の展開にご期待ください。